

「学生のおもしろ企画・大学祭企画」実施報告書

※整理番号：5

企画名	家具展 2012 ～モノづくり／ヒトづくり～
実施日	平成 24 年 11 月 3 日（土）～平成 24 年 11 月 4 日（日）
実施場所	工学部コミュニケーションギャラリー（通称ガレリア）
企画代表者の氏名，所属	氏名：楠 大樹 所属：建築学専攻
構成員の氏名	鈴木義弥、江見亮、森貞絵美、宮本慧、林健太郎、辻川晃太郎、鶴崎翔太、野口翔平、石田正樹、中西美桜、今村友里子、三木僚子、温麗維
指導的立場の教員氏名	岡河 貢
企画の目的及び内容	家具の展覧会を開催し、製作者、来場者が家具作りを通して生活空間における身体感覚を養うことを目的とします。また、他分野の学生や来場者の方にもものづくりの楽しさを学んでもらうと同時に、相互に知識や技術を伝えることで、分野を超えた交流を図ることを目的とします。また、普段使用している家具を自分たちで修復することで、家具を大切に使い続けていくという意識を養えると考えています。
来場者数	300 人程度
主催・後援団体（外部のコンテスト等に参加する場合は，そのコンテストの規模）	なし
活動の内容（準備，広報活動，当日の様子等）	<p>実際に、生活空間において重要な役割を担っている家具を自分で作り、それらを大学祭で展示しました。大学祭では展示だけでなく、手軽な家具作りを体験できるイベントを開催し、来場者も積極的に企画に参加できるようにしました。その他にも、家具を大切に使い続けていく精神を養うために、普段使用している家具を自分たちで修復しました。</p> <p>具体的に、まず広報活動を 9 月より開始致しました。ポスター、twitter、facebook、HP を製作・開設し、より多くの方に知ってもらうよう努力致しました。また、今年より学外にもポスターを貼付し、大学祭当日に多くの来場者が来て頂けるようにしました。学内に対してはもみじへも掲載していただくよう手配することで、幅広く学生が参加できるようにしました。</p> <p>10 月中旬に参加者に対して説明会を開催し、本企画の趣旨、日程、注意事項などを説明しました。</p> <p>説明会以降、家具の制作を開始しました。制作場所は A2 棟と A3 棟の間の地下の夜間を利用しました。道具類は去年までのものを使用し、足りないものや使えないものは新しく購入することで、作業に備えて準備しました。制作中、他学部の学生同士が互いに協力し合う光景も見られ、分野を超えた交流を図ることができました。</p> <p>当日は、午前 10 時から午後 5 時まで家具の展示及び体験イベントを開催し、多くの来場者に来ていただきました。サイン計画のためにイメージカラーの紅白風船を利用して展示会場の装飾を行うことで、通行人の関心を引き寄せることができました。来場者の方は家具を見て回り、また実際にそれらを使用していただきました。体験イベントでは小さな子供を中心に様々な年代の方が参加されました。実際に家具作りを体験して頂く際、切断した部材の組み立てや穴あけなどを体験していただきました。参加者にとっても有意義な活動となり、また家具作りの面白さを実感して頂けました。</p> <p>また、普段使用しているフェニックス工房にある家具の補修を行いました。劣化があった部位を補修することで、今後も長く使い続けていくことができると同時に、家具を大切に使い続けていくという意識を養うことができました。</p>

アンケートの結果（来場者にアンケートを実施した場合のみ）

アンケートの内容について、「気に入った家具はありましたか？ご感想・ご意見などお聞かせ下さい。」「家具展に参加してみたいと思いましたが？また、どんな家具が作りたいですか？」の二点についてアンケートを行いました。

回答として、参加者の家具に対してご感想・ご意見をいただきました。また、来年も参加してみたいというアンケートも多数あり、本企画が来場者に対しても好印象であったと思われる。

成果・課題

制作者・来場者共にものづくりの楽しさを実感することができたと思います。制作者・来場者とも普段は体験することのない家具づくりをすることは貴重な体験になったとおもいます。また、制作者が家具の寸法を決める際、メジャーで体の部位を測定したり、使用する姿勢の寸法を測定したりと、家具作りを通して生活空間における身体感覚を養うことができたと思います。様々な学部の学生に参加していただくことができ、家具作りを通して他分野の学生との交流を図ることもできました。制作中、参加者同士が談笑したり、協力しあって家具を製作する光景も見られました。

大学祭当日は、来場者が実際に展示された椅子に座るなどの光景が見られました。また、作品についても説明する機会があり、そのようなことから来場者にも家具作りに興味を持っていただくことが出来たのではないかと考えています。体験イベントはお子様を中心に参加していただきましたが、楽しく作業されるなかで家具作りの楽しさを実感していただけたように思います。

課題としては、家具製作時の工具類や作業スペースが不足しがちであったこと、大学祭当日での作品プレートの大きさが不適切であったこと等が挙げられます。来年以降、以上の点を改善し本企画がより発展していくよう努力していきたいとおもいます。

実施風景（写真）

